

【出題意図】

総合型選抜の小論文は、「大学の講義のミニ体験」だと考えて下さい。

動画(講義の代用)を視聴し、「内容を理解できていること」、「理解した内容を自分の経験や身の回りのことと結びつけて考えられること」、これらが評価対象となります。

◆みているポイント◆

・問 1 は「理解力」:動画の内容を正しく整理し、記述できるか

問 1 には“正解”があります。動画の内容を正確に理解し、短くまとめ、伝えることがポイントです。動画の中の重要な部分を 200 字で正しくまとめてください。

・問 2 は「考える力」:動画をきっかけに、自分の体験や社会の出来事とつなげ、深く考えられるか

問 2 には“正解”がありません。動画の内容を出発点にし、自分の体験や社会の出来事と結びつけながら、自分なりの考えを深めてください。どんな視点で書くかは自由ですが、動画の内容を土台にして、自分の発想を順序立てて書くことが大切です。

◆書くときの注意点◆

1.動画内容と関係のある話を書きましょう!:動画と関係の薄い話は、ただの「自分語り」になってしまいます。

2.自分の体験を書いたら、必ず動画の話に戻りましょう!:体験を熱く語りすぎて、動画内容との関連が尻切れトンボにならないようにしましょう。

以上のことから、問 1 と問 2 では、求められている文章が異なります。問 1 は「正しくまとめる」こと、問 2 は「広げて考える」こと、これらの違いを意識して、上手に書き分けてください。

出題年度：2026 年度

【模範解答】

<II>

問 1

- ① 目標とは、評価や感情、行動に影響を及ぼす望ましい最終状態の認知的表象のことを指す。目標を追求するにはモチベーションが欠かせない。モチベーションは動機付けと呼ばれ、ある行動を引き起こし、その行動を持続させ、一定の方向に導く心理的過程と定義される。目標追求が開始してから達成するまでの間、モチベーションは最初高く、だんだん下がり、最後の方になるとまた上がってくる。この現象は中だるみ効果と呼ばれている。(199 字)
- ② 目標追求において、to-date フレームはスタートからの距離に注目する方法であり、to-go フレームはゴールまでの距離に注目する方法のことである。例えば 10 キロ走る目標の場合、3 キロ走った時はスタートから 3 キロ走ったと考えたとモチベーションが上がり、7 キロ走った時はゴールまであと 3 キロ走ると考えたとモチベーションが上がる。つまり、スタートとゴールのうち、現在の地点から近い方に注目するとモチベーションが高まる。(197 字)
- ③ サブゴールを設定しない場合は、目標追求の後半で to-date フレームを使うと、to-go フレームを使うよりもモチベーションが低下することが明らかとなった。これは、ゴール地点が近いのにスタート地点に注目すると、モチベーションが低下することを示している。一方サブゴールを設定した場合は、目標追求の後半で to-date フレームを使っても、to-go フレームを使った場合と比べて、モチベーションは低下しないことが明らかとなった。(197 字)

問 2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・ 映像の内容と自分自身の経験を結び付けて、今後、自分自身が目標を追求・達成するための方法やモチベーションの維持の方法などが具体的に述べられている。
- ・ 自身のこれまでの目標を追求する方法や目標に対するモチベーションについて記述している。
- ・ to-date や to-go といった進捗モニタリングの方法、あるいは、スモールステップ（下位目標）など、映像の中にでてきたヒントが盛り込まれている。
- ・ 短期的目標や長期目標などさまざまな目標の共通点や相違点をふまえて、目標達成までの方法や、どのようにモチベーションを維持するかについて記述している。